

4 大型紙芝居

番号	タイトル	内 容	原作・出典など
4-1	いぬとねことゆびわ	長岡の昔話より	
4-2	絵あてクイズ	あなのあいた台紙をずらすと何がかくれているか見えてくる。クイズ形式で進めます。	
4-3	おおきくおおきくおおきくなあれ (童心社)	「おおきくおおきくおおきくなあれ！」と子供たちに一緒に言ってもらおう。豚やケーキが大きくなり、子ども達が喜びます。	市販品
4-4	たべられたやまんば (童心社)	昔話。さびしい山のお寺に、おしょうさんとこんぞがいた。ある日のこと、こんぞは山へ栗ひろいにでかけた。行けば行くほど、でかい栗が落ちているもので…。	市販品
4-6	あひるのおうさま (童心社)	フランス民話	市販品
4-9	みんなでぽん！ (童心社)	大きな白い丸が一つ。みんなと一緒に「ぽん！」と手をたたくと、中からこびとがとびだします。つぎは白い四角からロボットが…。みんなで手をたたきながら参加できる作品。	市販品
4-10	おだんごころころ (童心社)	おじいさんのおだんごが転がって、おじぞうさまのところへ落ちました。おじぞうさまは頭の上へのぼれと言います。そこへ鬼たちがやってきて…。	市販品
4-11	かおかおどんなかお	うれしいかお、かなしいかお、いろんなかおがたくさん！	絵本『かおかおどんなかお』柳原良平／作・絵 図書館ボランティア作成 著作権許諾済み スペシャルで使用。上演の際は、 <u>原本を紹介すること。</u>

4-17	栃鉄物語(17面)	大正4年に誕生した栃尾鉄道、「トッテツ」の物語。トッテツの思い出、エピソードとともに紹介します。	寄贈品 近藤 久／文・絵 清水 誠一／監修 専用舞台11-17
4-18	駒野桜物語 (17面+1面)	悪戦苦闘の努力をして、福島江を長岡の桜の名所に育て上げた駒野広治さんの物語です。	寄贈品 土田 明典／絵 近藤 久／作 清水 誠一／監修 専用舞台11-17
4-19	臥龍橋(長生橋)物語 17面	長生橋を架けるため尽力した広江椿在門の物語です。	寄贈品 土田 明典／絵 近藤 久／作 専用舞台11-17
4-20	ごきげんのわるい コックさん (童心社)	ごきげんのわるいコックさんがいるね。「ごきげんなおしてよ」といいながら画面をぬくと、あれあれ、顔がぐーんと横に伸びて、もっとごきげんが悪くなってしまったよ。みんなで「コックさん、こっち向いて」と声をかけよう! (TRCマークより)	市販品
4-21	もみもみおいしやさん (童心社)	「もみもみおいしやさん」は、くまのおいしやさん。やわらかな大きな手でもみもみしてもらうと、痛いところ、悪いところが、みーんな治ってしまいます。ある時、へびくんが、おなかが痛いと言ってきて…。(TRCマークより)	市販品
4-23	互尊翁と互尊文庫 ものがたり(13面) (舞台11-16)	互尊文庫を作るために尽力した互尊翁(野本恭八郎)の物語です。	寄贈品 稲川 明雄／原作 堀口 晴夫／脚本 土田 明典／絵